

環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

フルシEPO株式会社 上場企業プレミアム説明会

2022年9月10日

名証メイン・東証スタンダード

証券コード:9221



1. 会社概要
2. 特徴と強み
3. 成長戦略
4. 補足資料(参考)

1. 会社概要

2. 特徴と強み

3. 成長戦略

4. 補足資料(参考)

社名の由来

環境

港

Ecology

+

Port

=

EPO

Environment



社長プロフィール

- 氏名 山口 直彦 (やまぐち なおひこ)
- 役職名 代表取締役社長
- 出身地 名古屋市熱田区
- 生年月日 昭和29(1954)年10月13日
- 最終学歴 立教大学社会学部 卒業



社名	フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION）
創業	1947年12月
設立	1948年 2月
本社	名古屋市中区金山一丁目14番18号
代表者	代表取締役社長 山口 直彦
資本金	572百万円(2022年7月末)
従業員数	449名(連結:2022年7月末)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● バイオマテリアル事業● 資源循環事業● 環境物流事業
許認可	<ul style="list-style-type: none">● 建設業許可● 産業廃棄物処分業許可● 産業収集運搬業許可● 一般廃棄物処分業許可● 古物商許可
関係会社	<ul style="list-style-type: none">● 連結子会社:6社（国内4社・海外2社）● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内)

経営理念

世のため 人のため 地球のため 社員のため
持続可能な社会を創造します

- 環境配慮、社会性、企業倫理を含めたコンプライアンスに対する意識の徹底を図ると共に、様々なステークホルダーとの持続的な経営を推進しています。
- 当社の事業活動は持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)の17ゴールに広くかかわっており、事業を通して社会課題の解決に積極的に寄与していきます。

当社グループ拠点



【国内事業拠点】

- リサイクル工場: 18か所
- 本社・営業所等: 9か所

【海外事業拠点】

- 物流機器製造工場: 2か所 (ベトナム1か所、タイ1か所)

JAPAN

日本

ジャパンバイオエナジー(株)

東東京営業所 東東京工場(松戸)

千葉営業所 千葉リサイクルランド

横浜営業所

湘南工場

静岡営業所 静岡第一工場(掛川)

岐阜第一工場(多治見)

岐阜第二工場(大垣)

三重工場

(株)フィニティ津工場

(株)フィニティ栗東工場

西日本営業所 広島工場

OVERSEA

海外

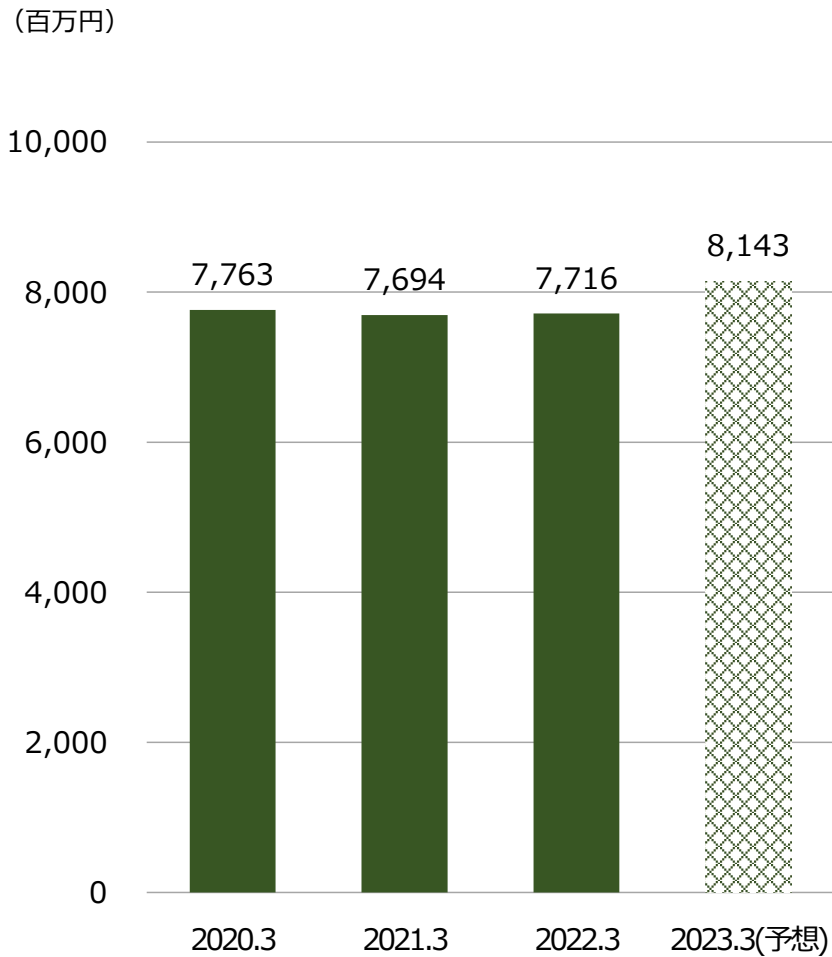
FULUHASHI CORPORATION (VIETNAM) LTD.

FULUHASHI CORPORATION (THAILAND) LTD.

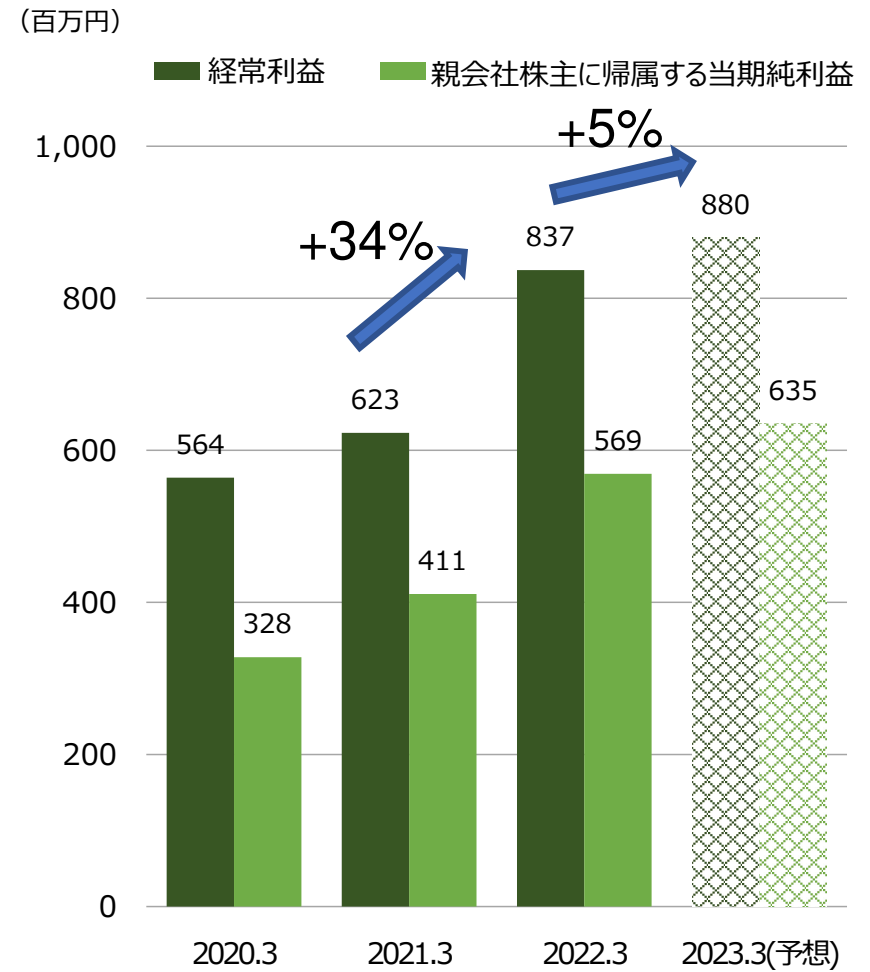


売上高・経常利益の推移

売上高

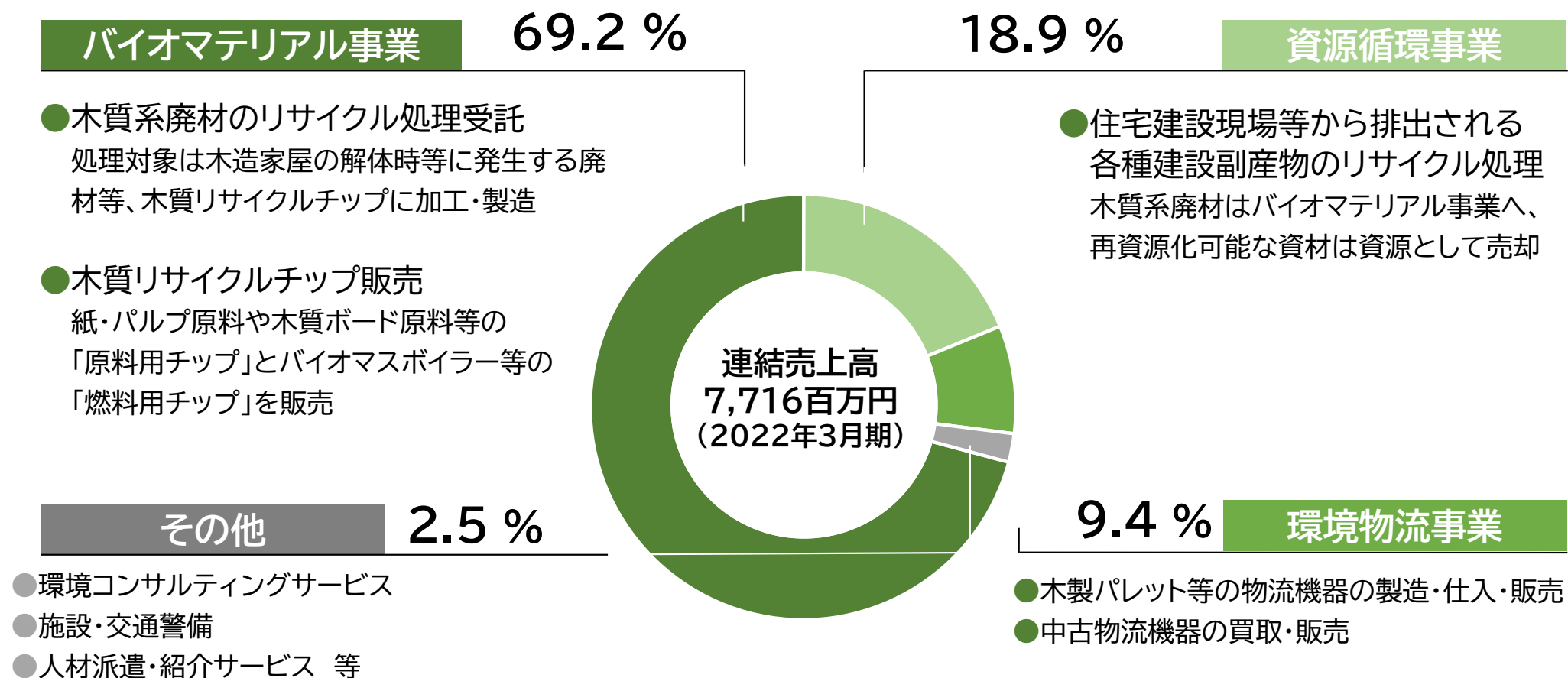


経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



● 2022年3月期より収益認識会計基準等の適用

バイオマテリアル事業、資源循環事業、2つの事業を柱に 総合的な環境ソリューションを展開



(注)各セグメントの販売高(販売実績)を売上高とし、連結売上高で除して売上割合を計算しております。

廃棄物排出事業者等から木質系廃材のリサイクルを受託し、 当社工場で木質リサイクルチップに加工・製造し販売

■木質バイオマスのリサイクルの流れ

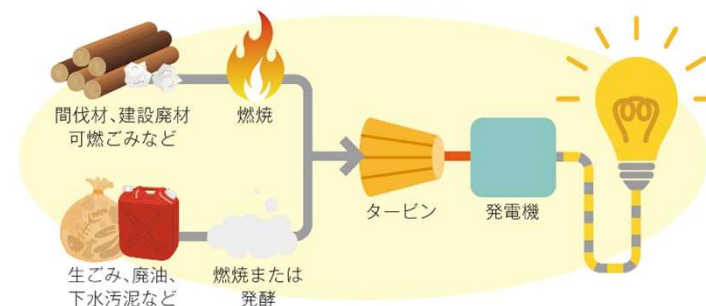


■主な販売先

- 原料用チップ
 - ・製紙メーカー
 - ・ボード各社 等
- 燃料用チップ
 - ・バイオマス発電所
川崎バイオマス発電(株)
CEPO半田バイオマス発電(株)
 - ・その他のバイオマスボイラー所有会社
製紙メーカー 等

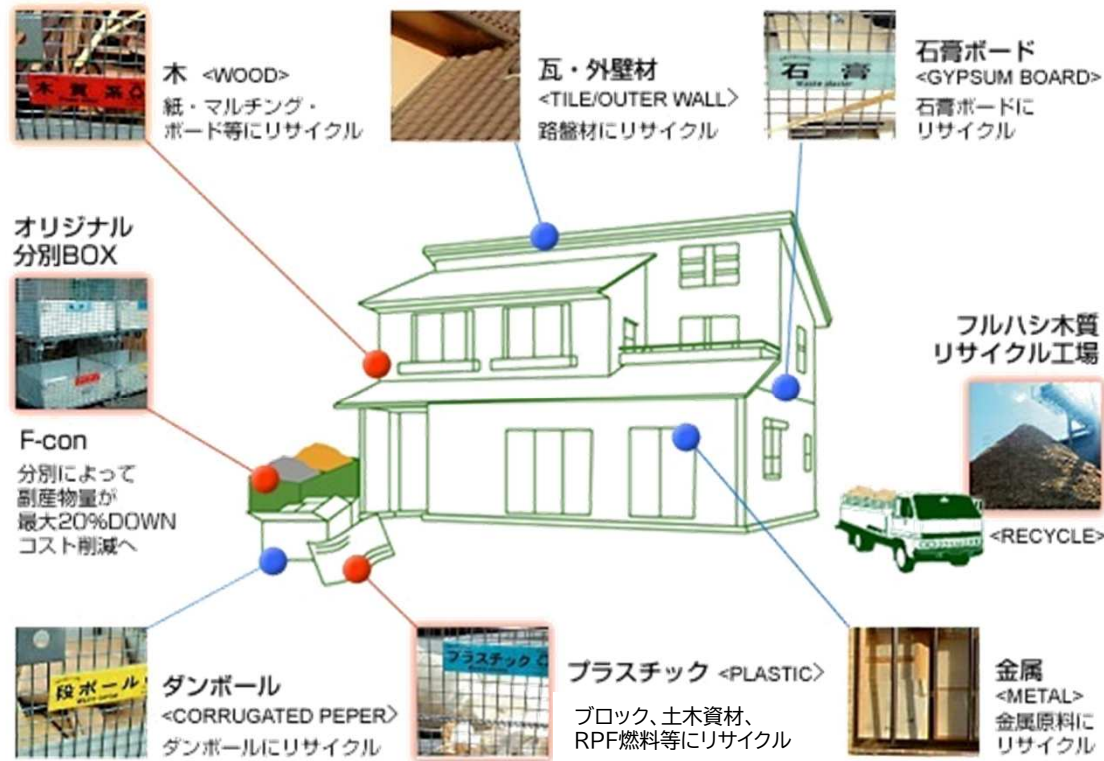
約20%が
原料用、
約80%が
燃料用
チップへ
リサイクル

参考：バイオマス発電の仕組み



住宅建設現場等から排出される各種建設副産物(廃棄物)を 収集運搬し、当社グループ工場で中間処理による再資源化

■新設住宅の建設現場から生まれる様々な資材の副産物



当社グループで取扱う産業廃棄物7品目

- 木くず
- 廃プラスチック類
- 紙くず
- 繊維くず
- 金属くず
- ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
- がれき類

集荷

リサイクル率
81.4%

選別、再資源化等の中間処理
(当社グループ工場にて)

出荷

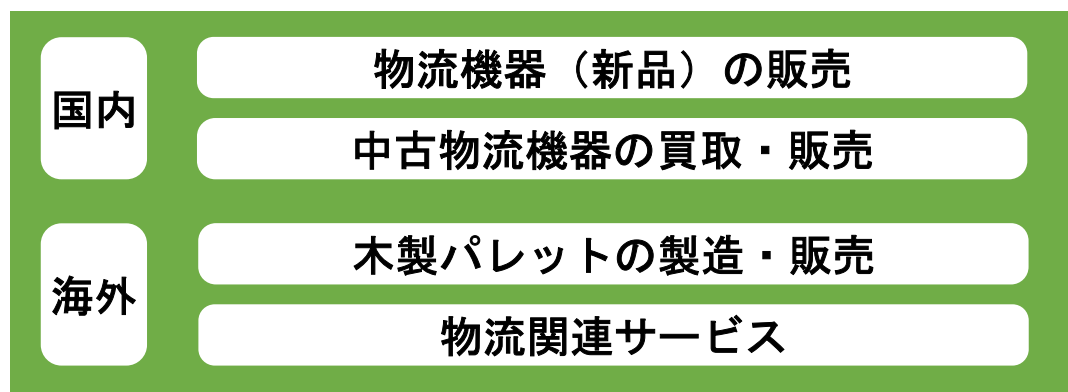
再資源化 ⇒ 副産物として販売
(当社グループ工場および中間処理業者にて)

【木くず】 バイオマテリアル事業を行う各工場へ

【その他】 資源循環事業の各工場で再資源化
& 中間処理業者に委託して再資源化

*最終埋立処分が必要な廃棄物は、最終処理業者へ外注委託・処理

木製パレット等の物流機器の製造・販売及び修理、中古物流機器の買取・販売、廃棄木製パレット等のリサイクル処理を含めたソリューションを提供



リサイクル処理を含めたソリューション

破損した中古木製パレットの引き取り

- ➡
- ① 修理した上で販売
 - ② 木質チップの原料としてリサイクル
(バイオマテリアル事業と連携)

■ 主な製商品

- 木製パレット



- プラスチック製パレット



- メッシュボックス



1. 会社概要

2. 特徴と強み

3. 成長戦略

4. 補足資料(参考)

3つの特徴と強み

①木質廃棄物処理量 東海地区トップ

東海地区の木質廃棄物
取扱量シェア

(フルハシEPOとフィニティの合計)

33.1%

(東海地区**1**位)

出所：東海木材資源リサイクル協会のデータ

②業界トップクラスの 高収益性

連結売上総利益率
(2022年3月期)

43.9%

上場産廃10社平均 (2021年度)
(除くフルハシEPO)

29.3%

③バイオマス発電 事業への参画



川崎バイオマス発電所

(2011年2月運転開始)

共同出資：住友共同電力(株)、住友林業(株)



CEPO半田バイオマス発電所

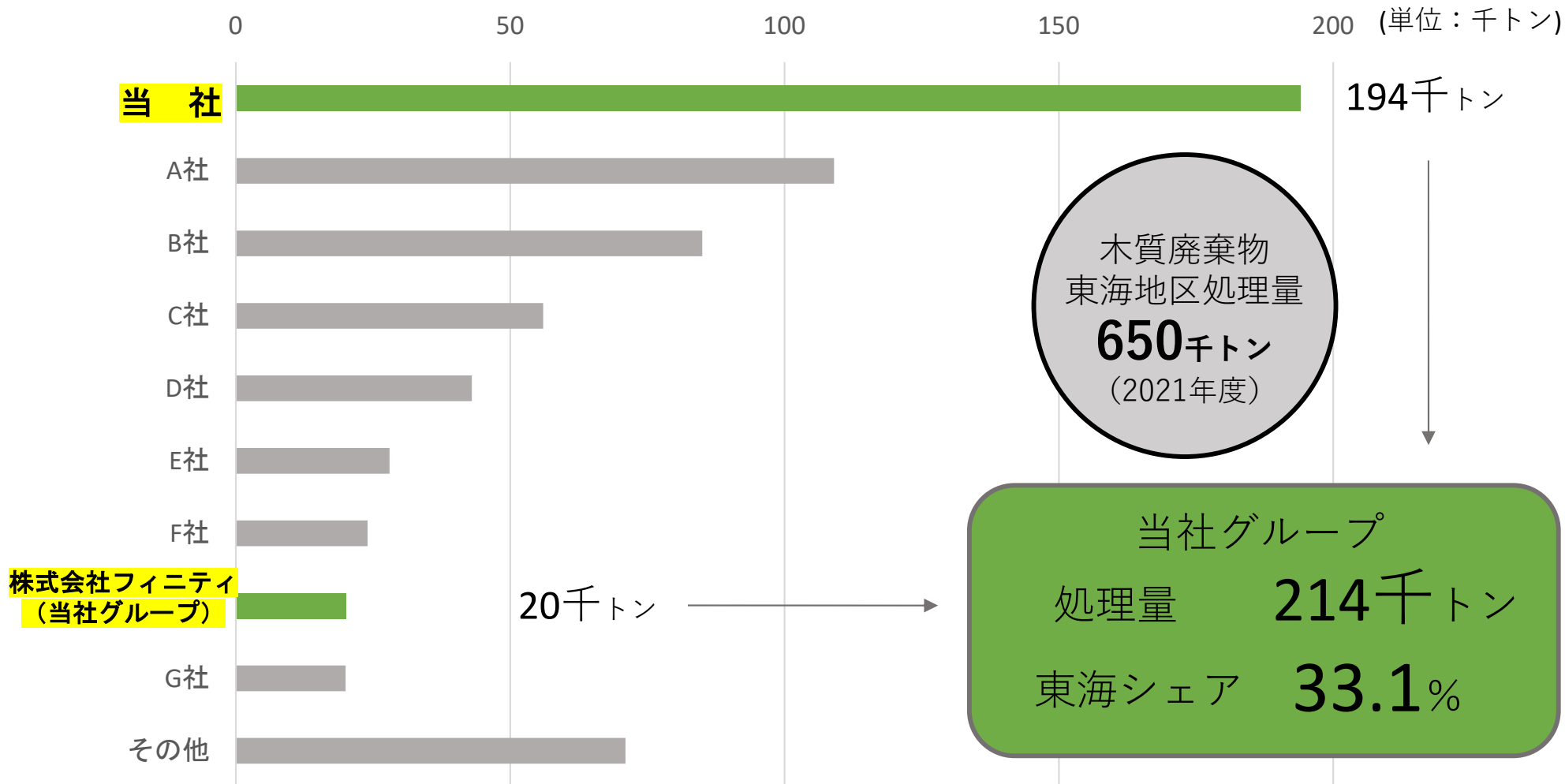
(2019年10月運転開始)

共同出資：(株)シーエナジー 〈中部電力グループ〉

①木質廃棄物処理量東海地区トップ

当社グループの木質廃棄物の処理量は東海地区ではトップ

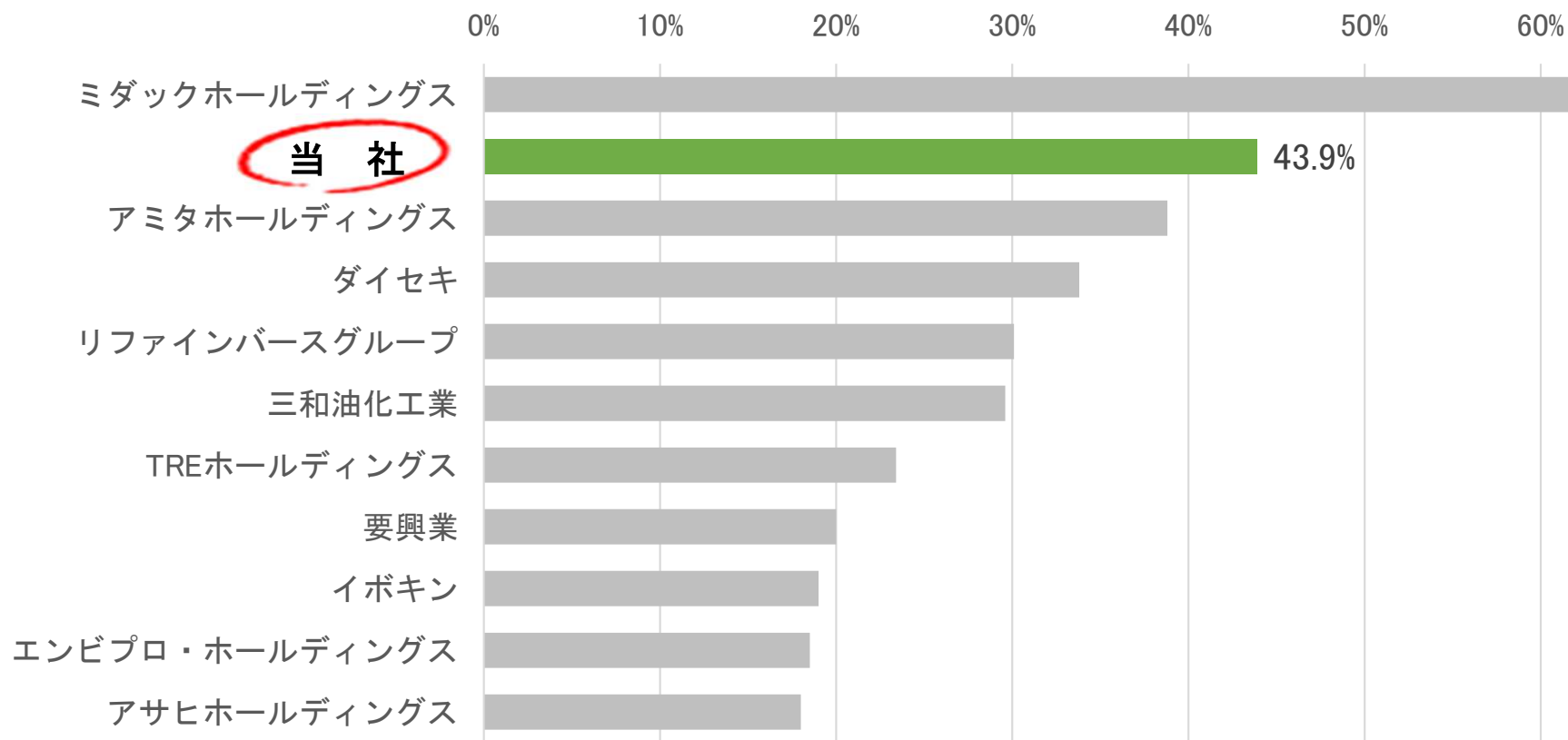
■東海地区の処理量



②-1 業界トップクラスの高収益性

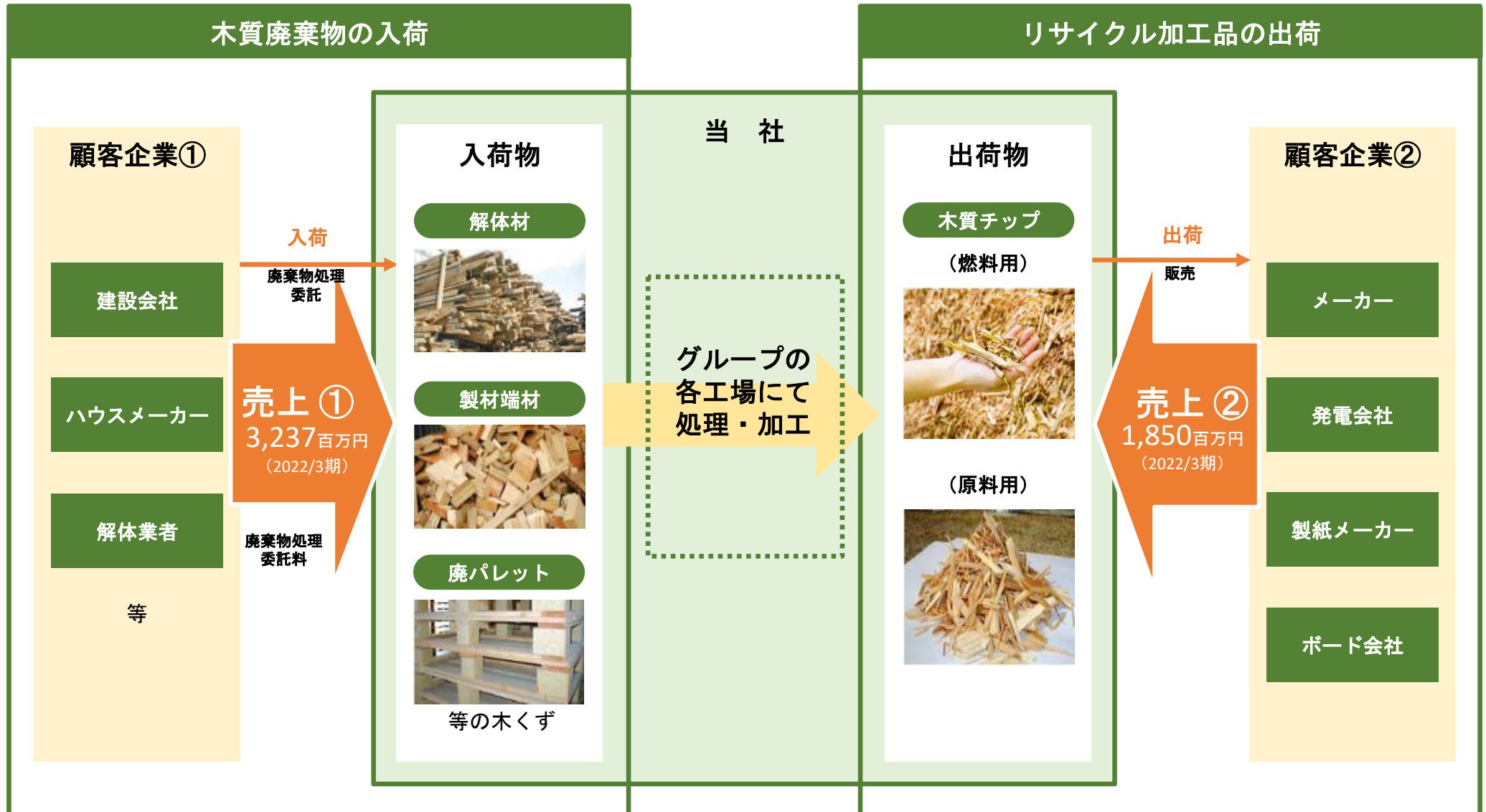
木質系が主力で再資源化率が高いビジネスモデルによって、
上場産廃企業と比べても**高水準の収益性を実現**

■上場産廃企業との連結売上総利益率の比較（2021年度）



出所：各社公表資料に基づき当社が作成

②-2 高収益性を支えるバイオマテリアル事業におけるダブルインカム



③-1 当社が参画するバイオマス発電事業



川崎バイオマス発電所

(2011年2月運転開始)

共同出資：住友共同電力(株)、住友林業(株)

- 川崎市の厳しい環境基準をクリアした「都市型バイオマス発電所」

<川崎バイオマス発電所とジャパンバイオエナジー(株)>



- ・ 発電出力 約33,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約12万トン



CEPO半田バイオマス発電所

(2019年10月運転開始)

共同出資：(株)シーエナジー〈中部電力グループ〉

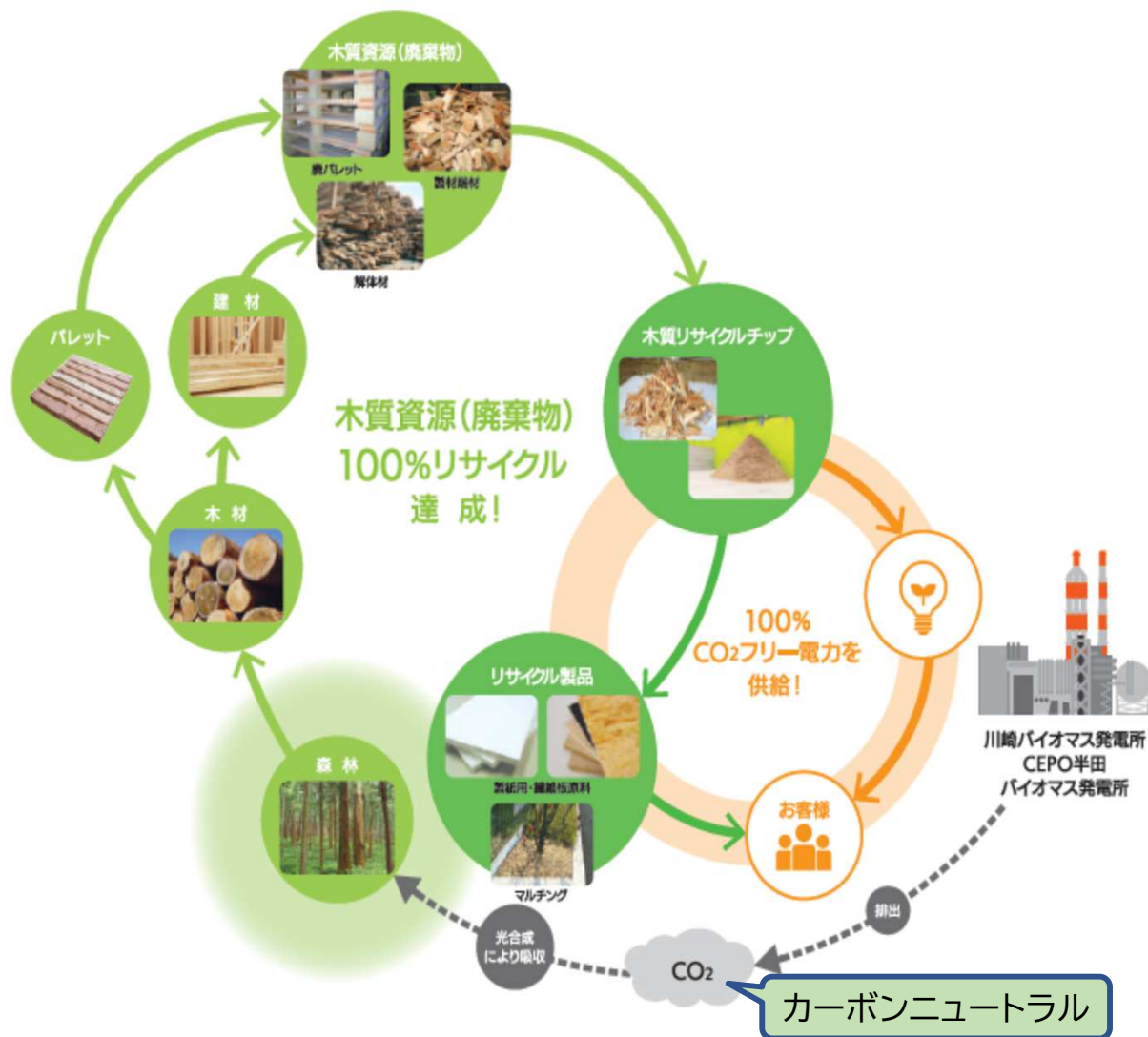
- 燃料である木質リサイクルチップは、隣接の愛知第七工場で製造しコンベアで搬入

<CEPO半田バイオマス発電所と当社愛知第七工場>



- ・ 発電出力 約50,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約15万トン

③-2 (参考)木質バイオマス発電とは



「木質バイオマス発電」とは

石油・石炭などの化石燃料を使用せず、周辺地域で発生する建設廃材、樹木の剪定材、間伐材などから作られた木質チップを使用するバイオマス専焼発電所を言います。

「カーボンニュートラル」とは

木質バイオマスは燃焼時にCO₂を排出しますが、樹木の成長過程で光合成により大気中のCO₂を吸収するので、排出と吸収によるCO₂のプラスマイナスはゼロになります。このような炭素循環は「カーボンニュートラル」といい、大気中のCO₂濃度上昇の抑制に貢献します。

1. 会社概要

2. 特徴と強み

3. 成長戦略

4. 補足資料(参考)

1、人口の多い都市エリアへの拠点展開

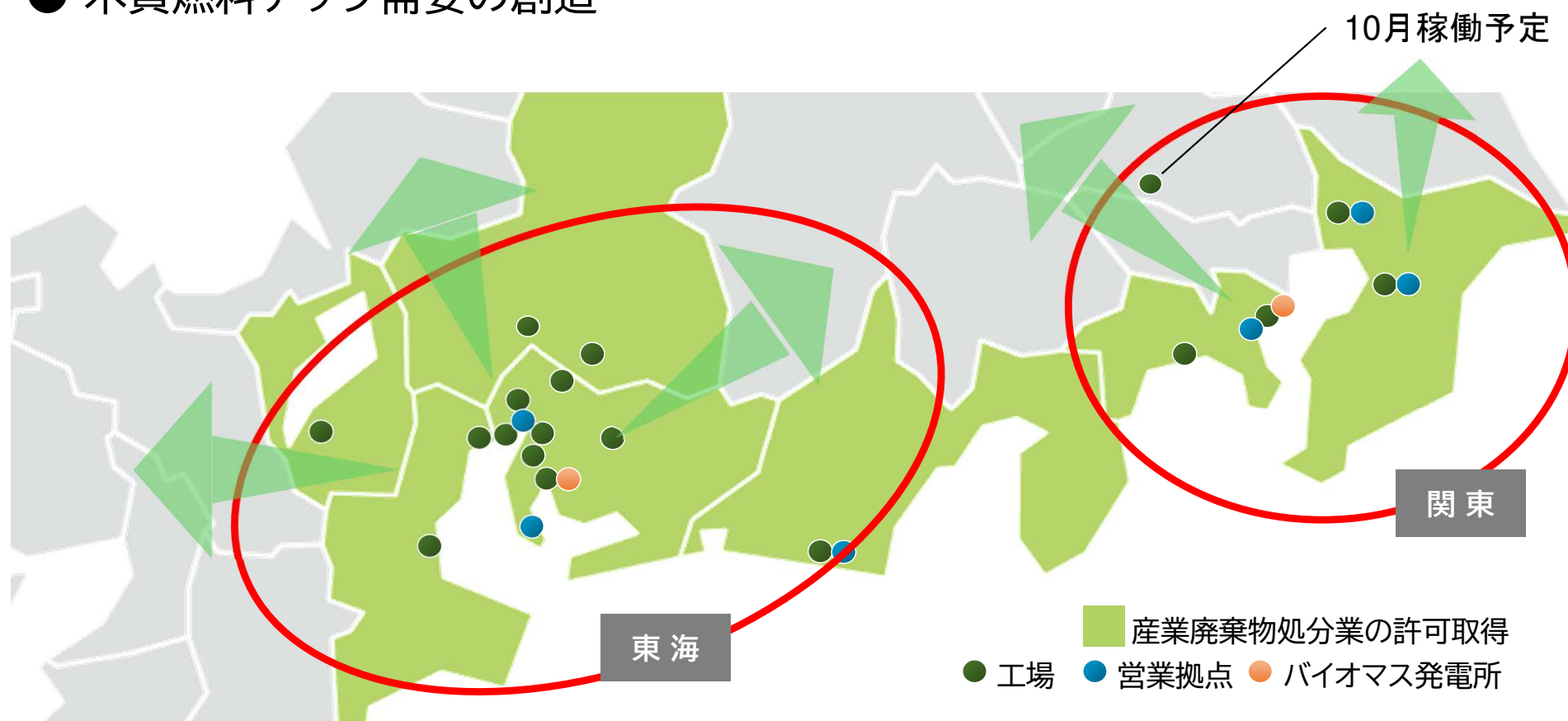
- 木質バイオマスリサイクル拠点の新設及び資源循環事業拠点の併設

2、木質バイオマス発電への積極的な参画

- 木質燃料チップ需要の創造

SDGsへの寄与

再生可能エネの創出
資源循環の促進



IPO資金使途はバイオマテリアル事業、資源循環事業における工場新設・増設関連資金であり、外部評価機関のSPO^{注1}を取得

事業区分	該当するSDGs目標	資金使途対象プロジェクト	完了予定年月
バイオマテリアル事業 (再生可能エネルギー)	  	岐阜第二工場(大垣)	2022年5月完了
		西東京工場(入間)	2022年10月
		愛知第八工場(一宮)	2024年10月
資源循環事業 (汚染防止及び抑制)		掛川リサイクルガーデン	2023年4月
		新千葉リサイクルガーデン	2023年10月
		湘南リサイクルガーデン	2023年10月

国際資本市場協会の「グリーンボンド原則2021」の特性に基づき、
株式会社日本総合研究所が本資金調達について、環境課題解決に寄与することを確認済み

環境面での社会要請に確実に応えながら、
成長分野をさらに拡大することで、永続的な成長を目指す

1) 岐阜第二工場(大垣)

岐阜県内2番目のバイオマテリアル事業の工場として
2022年5月31日開設・稼働
東海地区の市場強化による業績拡大に寄与

住所	岐阜県大垣市浅草三丁目135
許可番号	第02120028236号(岐阜県)
生産量	30,000t/年

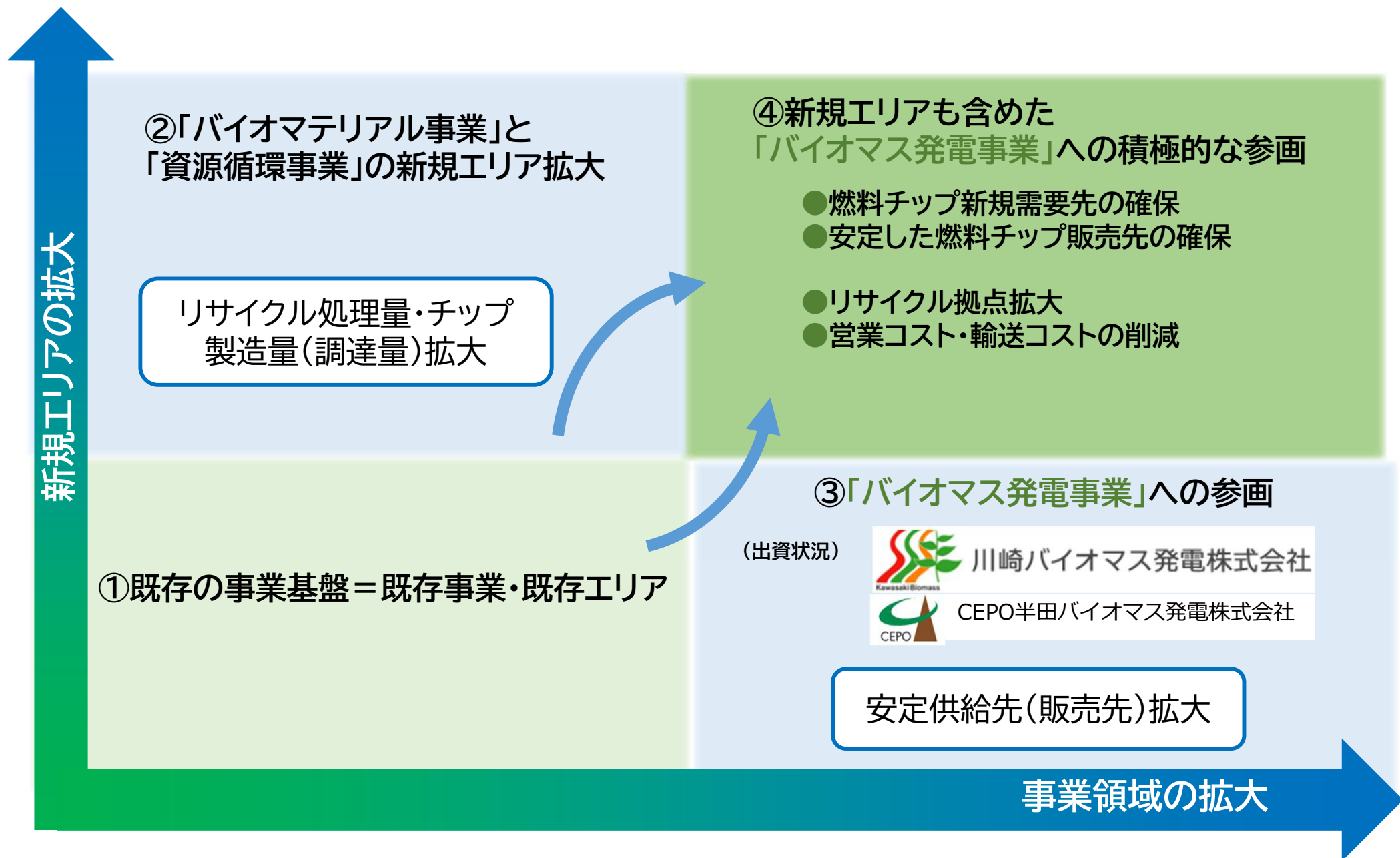


2) 西東京工場(埼玉県入間市)

2022年10月開設・稼働予定

住所	埼玉県入間市狭山台三丁目9番5
生産量	30,000t/年





植林からエネルギー

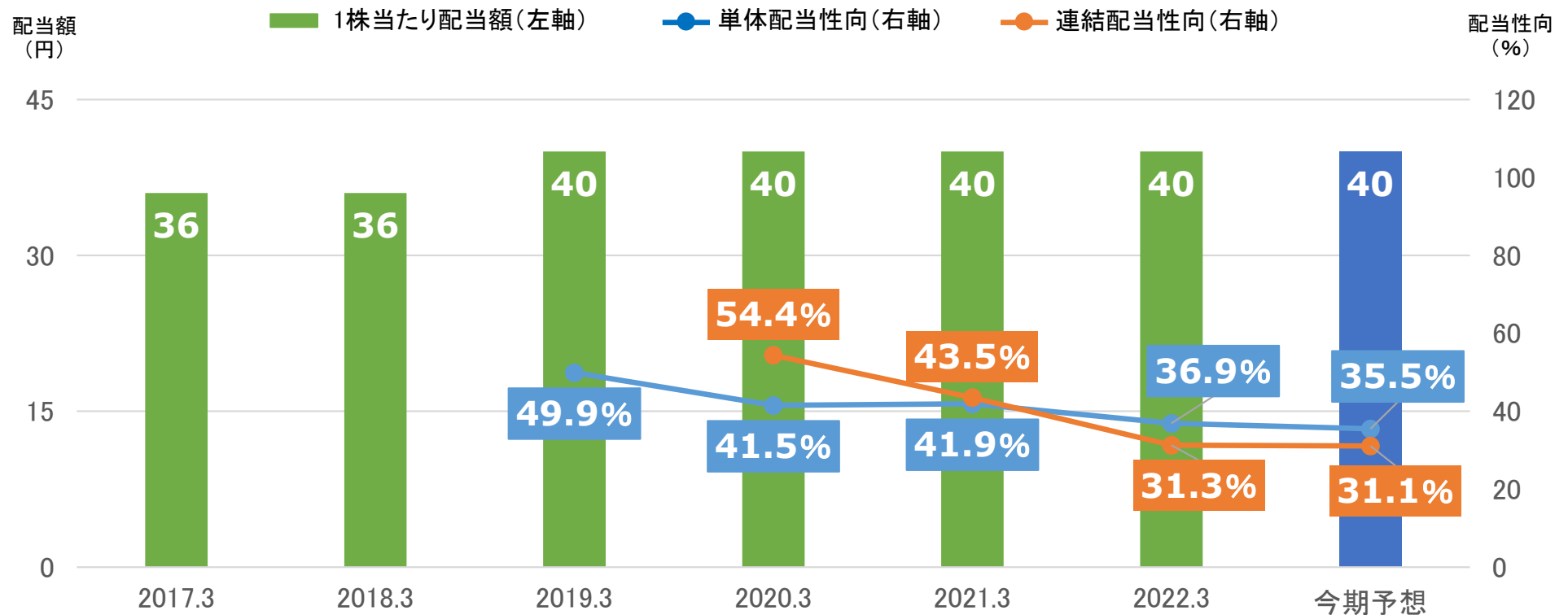


◆配当政策

- ・安定性・継続性に配慮し、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施。
- ・**配当性向は30%以上の維持。**

◆今期(2023.3期)配当

- ・前期配当を維持し、**1株当たり40円の予定**



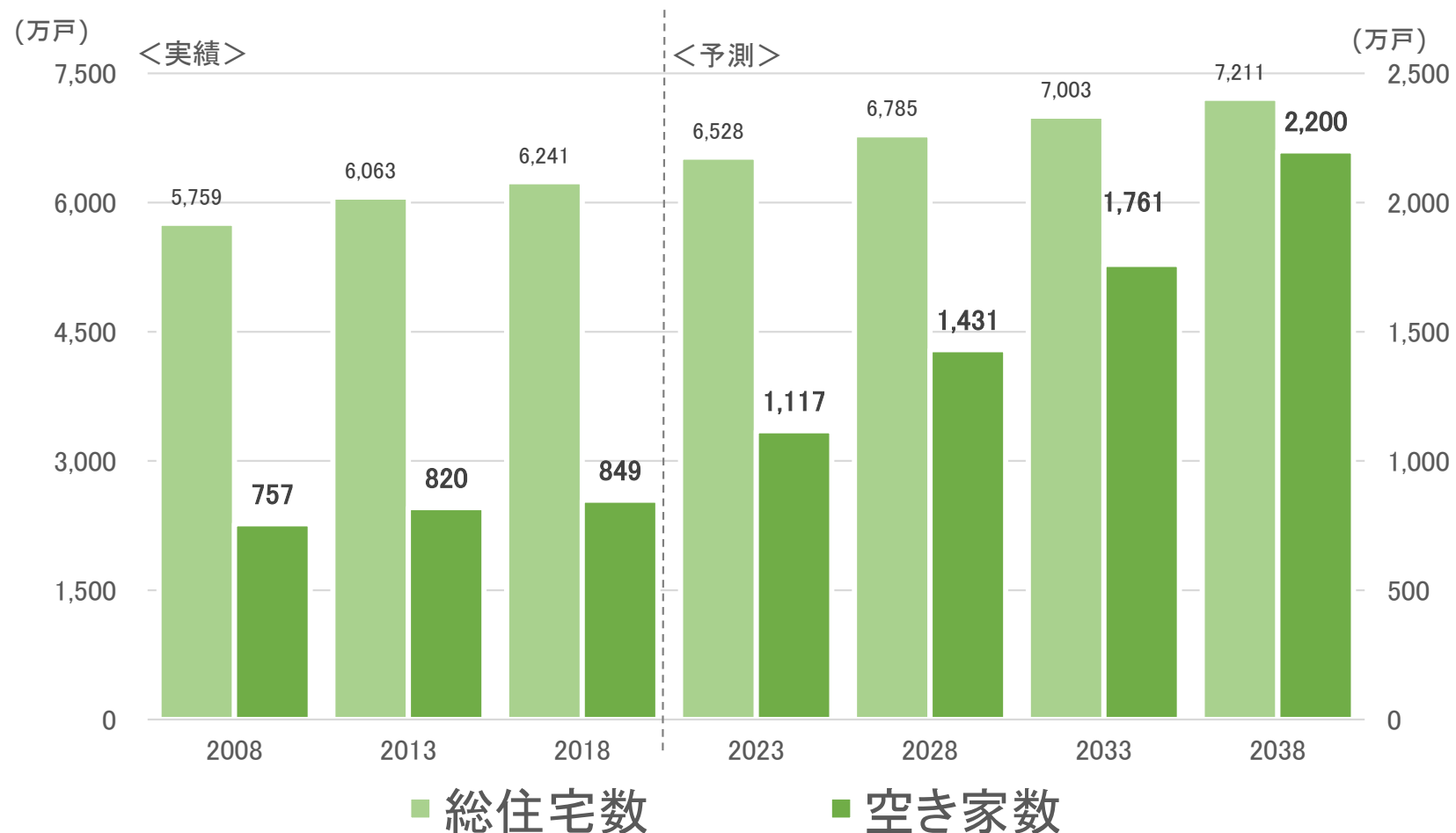
(注) 連結配当性向は、有価証券届出書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出しております。

ご清聴ありがとうございました

1. 会社概要
 2. 特徴と強み
 3. 成長戦略
 - 4. 補足資料(参考)**
-

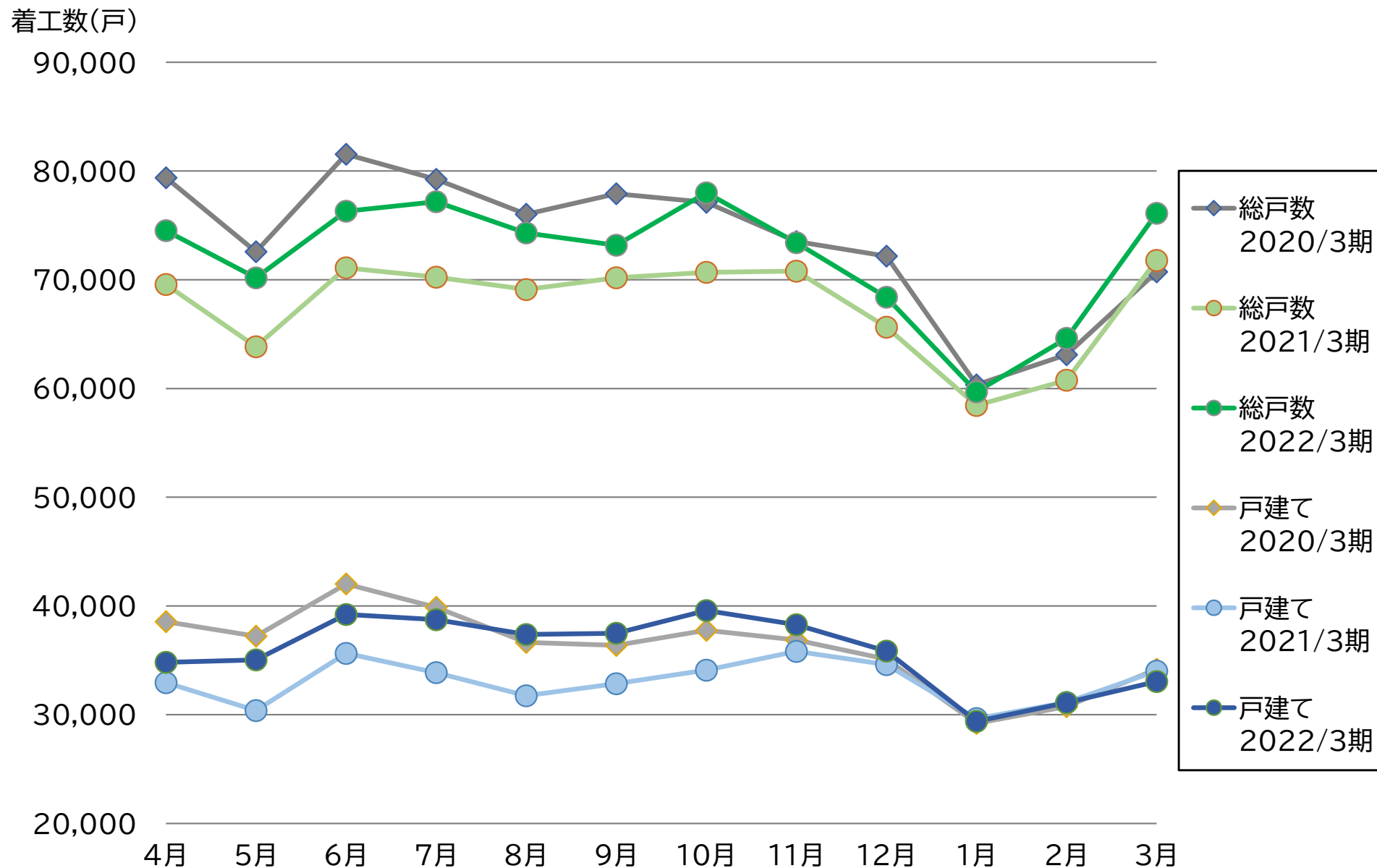
空き家の増加が予想され、解体戸数も一定数を見込む

■ 総住宅数・空き家数の実績と予測



出所:野村総合研究所「2040年の住宅市場と課題(2020年6月9日)」に基づき当社が作成

補足資料:新築住宅着工戸数



出所:国土交通省「建築着工統計調査 住宅着工統計」に基づき当社が作成

本資料の取り扱いについて

■本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。

■本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。

■本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

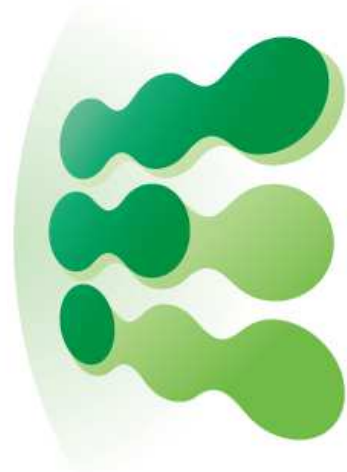
■本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

フルハシEPO株式会社 総務部

TEL:052-324-9088

【本資料及びIRに関するお問い合わせは、こちらより受け付けております。】

https://www.fuluhashi.co.jp/contact_ir.html



環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO